

令和5年9月21日

水素産業の今を知り未来につながる関係者と出会える交流イベント 「関西水素産業交流ラウンジ」を初開催！

近畿経済産業局では、カーボンニュートラル実現に向けた鍵となる水素関連産業において、各企業や研究機関等が今後求める協業パートナーと出会い・交流できるマッチングイベント「関西水素産業交流ラウンジ」を初開催します。本年度は、10月26日に初回、2024年2月に第2回を開催予定です。

1. 背景と課題

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、水素はエネルギー安定供給の一翼を担う新たなエネルギーとしてのみならず、日本が強みを有する成長産業の一つとしての期待が高まっています。一方で、水素の普及や産業競争力強化のためには、供給面、需要面ともに解決すべき課題が様々あり、その課題の一つが水素サプライチェーンの構築です。

こうした中、関西は水素関連産業をけん引する大企業が数多く立地し先進的な取組を進めていることに加え、高い技術を有し部素材等を供給できる中堅・中小企業が集積しているなど、同産業の裾野の広がりが期待できる地域です。

当局では、こうした関西の強みをさらに引き出すための活動を通じて、水素サプライチェーン構築（水素供給から需要までの一連の流れ）という課題に対して取り組みます。その具体的な取組の一環として、今年度より、各関係者間の交流を促進するマッチングイベント「関西水素産業交流ラウンジ」を新たに開催します。

2. 「関西水素産業交流ラウンジ」とは

■目的

水素関連産業の先進的な取組やそれらに係る課題・ニーズの紹介等を通じ、各企業等が今後求める協業パートナーとのマッチングや関係者間の交流等を促進するとともに、関西地域における同産業の市場拡大に向けた機運の醸成を図ります。

■事業概要

第1回目は、大企業、中堅・中小企業の先進的な取組事例や、外資系企業に

よる世界の水素市場の動向や大学による最新の研究開発・実証事業等の概要、自治体の取組状況等、幅広い関係者の活動内容等を紹介するとともに、各企業・団体が抱える課題・ニーズ等も併せて発表します。発表されたニーズに対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構のマッチングシステム「J-GoodTech」を活用して、自社の強みをPRして頂くマッチング機会の創出だけでなく、参加企業同士の交流機会を提供します。

《「関西水素産業交流ラウンジ」の3つのポイント》

- ✓ 国内外の水素関連産業の市場動向が分かる！
- ✓ リーディングカンパニーが求めるニーズを聞ける！
- ✓ 未来の協業パートナーと出会える！

《参加対象者》

- ・ 水素関連産業に参入を検討している企業
- ・ 水素関連産業に既に参入している企業
- ・ 水素関連産業に関心がある企業・団体（大学・金融機関・商社等）

3. 第1回開催概要

開催日時 令和5年10月26日（木）13:00-16:30
会場 サラヤメディカルトレーニングセンター（SMTC）
（大阪府中央区本町3-6-4 本町ガーデンシティ4階）
定員 70名（オンライン配信（Microsoft Teams）も同時実施）
主催 近畿経済産業局
共催 独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部、大阪府、
（予定） 兵庫県、大阪商工会議所
協力 滋賀県、京都府、京都市、神戸市、大津商工会議所、神戸商
（予定） 工会議所、公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、公益財団法人
京都産業21、公益財団法人京都高度技術研究所、公益財団法人
新産業創造研究機構、公益財団法人神戸市産業振興財
団、一般社団法人大阪科学技術センター

プログラム

登壇者	タイトル
① 株式会社島津製作所 副主任 川口 惇史氏	島津製作所の環境経営の取り組みと水素に関する各種分析事例のご紹介
② 株式会社神戸工業試験場 代表取締役 副社長 鶴井 宣仁氏	民間試験場における水素環境中材料試験

③ 大阪大学大学院工学研究科 教授 赤松 史光氏	工業炉での水素・アンモニアの直接燃焼 利用
④ 自治体 大阪府/兵庫県	大阪府の水素関係施策のご紹介/ 兵庫県の水素関連中小企業支援
⑤ 日本エア・リキード合同会社 政策渉外部長 安栖 宏隆氏	エア・リキードの水素ビジネスの今と未 来
⑥ アルマテック (Almatech SA) 三崎 由美子氏	海上輸送の脱炭素革命を実現するゼロエ ミッション水中翼船 ZESST
⑦ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 課長代理 梶山 哲平氏	J-GoodTech (オンラインマッチングシス テム) の利用方法
⑧ 参加者同士による名刺交換 (会場参加者のみ)	—

※ 第1回開催は、登壇企業・団体からの技術提携パートナーや共同研究パートナーの募集、材料や素材に関するデータや知見の募集等が見所となっております。詳細については、関西水素産業交流ラウンジ内にて発表致します

4. 今後の展開

水素サプライチェーン構築に向けて、今後も、水素関連産業に関心がある企業・団体等の交流機会を継続的に設けるなど、関係者間の顔が見える関係性づくりを促進しつつ、同産業への新たな参画者を増大させること目指します。

また、社会における水素の普及・定着に向けては、水素の利活用シーンや地域における水素需要の拡大など、様々な課題が存在することから、自治体や企業をはじめとする関係者と連携を図りながら、これらの課題解決に着実に取り組んでいきます。

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 カーボンニュートラル推進室長 織田

担当者 : 藤田、内野

電 話 : 06-6966-6055

F A X : 06-6966-6089

